

シグマ研究委員会
核構造データWG・サブWG会合議事録

日 時 昭和 54 年 5 月 23 日(木) 13:30 - 17:30
場 所 原研東京本部 第 31 会議室
出席者 橋爪, 天道(理研), 神戸(東工大), 喜多尾(放医研),
田村(原研)

配布資料 ^{127}I の関連文献

議 題

1. ^{127}Te の β 崩壊

^{127}Te の基底状態とアイソマーの崩壊から, ^{127}I の核準位が調べられているが, すでに旧 NDS に採録されている 70AP02 よりも新らしい文献はない。現在の ENSDF に入っているデータは旧 NDS から作成しているが, 内部変換係数, 混合比などの新らしいデータを使って HSICC, GTOL, LOGFT などの処理コードを通し, ファイルを拡充する必要がある。

2. ^{127}Xe の EC 崩壊

$^{127}\text{Xe} \rightarrow ^{127}\text{I}$ の EC 崩壊では 76GE10 に非常に精度の高い γ 線相対強度, 絶対強度のデータがある。 ^{127}Te の β 崩壊の場合と同様, 内部変換係数, 混合比などの新らしいデータを加えて, ファイルを拡充する。

3. ^{127}I のクーロン励起

^{127}I のクーロン励起については古くから相当沢山のデータがあるが, 最近 76AN19 で Doppler Shift Attenuation によるレベルの寿命を含む新らしいデータが公表されており, レベル構造の理解に役立つ。

4. $^{127}\text{I}(n, n')$

旧 NDS では 69BA04 が採用されているが, 最近 78AV16 に新らしいデータがあるので, 核反応データとつき合わせてみる必要がある。

5. ^{127}I を終状態にもつ核反応

(3He , D), (A, T) 反応のデータが 78SZ04 にあり, これを採用する。

全般的には ^{127}I のデータは豊富であるので各データ・セットの原案を次回までに作成し, 次回に Adopted levels を考えられる資料を準備することになった。